

建築の道から土木の道へ

工事名:東九州道(清武～北郷)二之河内地区改良外工事

○この仕事を何故選んだ?

33歳まで建築の仕事をしていましたが、新しい分野に挑戦したいと思い、これまでの経験が少なからず生きる土木の仕事を選びました。

○建築から土木の仕事に従事して感じたことは?

土木の仕事に従事して一番驚いたことは、測量技術の高さです。自身の習得していた建築の測量技術は役立つ部分もありましたが、測量の考え方・測量簿の見方等知らないことが多くありました。

しかし、先輩方の指導のおかげで基本的な測量技術をこの現場で身に着けることができました。

○この仕事のやりがいは?

ICTやドローン等の情報通信技術を使ったこれから主流になる新しい技術を学ぶことはもちろんですが、自身が現場で測量して高速道路が完成していくことに、達成感を味わい、誇れるものづくりが出来ることです。この高速道路が2022年度に開通して、自身の携わった工事区間を車で走ることを楽しみにしています!

○就職に悩んでいる若者に一言?

どんな仕事もきついです。でも、頑張れるのはその仕事に自分が価値を見出しているからです。土木の仕事は価値ある仕事、誇れる仕事だと私は思います。週休2日制の導入や快適トイレもあり職場の環境は充実しています。

また、この現場で新しい趣味(現在1番)が出来ました!
終業後にKプロ(上司)から教わっています(笑)

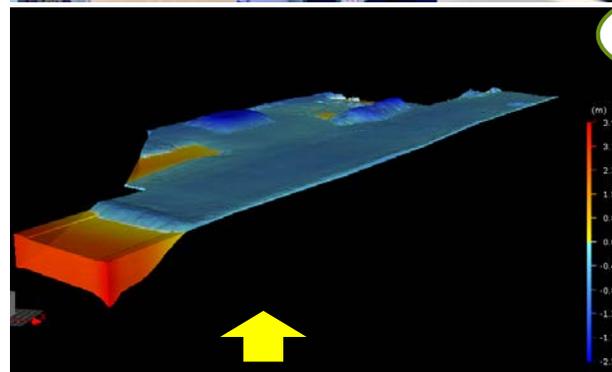
【私からのメッセージ】

土木に転職を迷っている方へ・・・迷わず行けよ！行けば分かるさ！！

【鶴田貴久さんのプロフィール】

この現場での担当:担当技術者 福岡大学工学部建築学科卒業

スポーツ歴:中学はバスケット部、高校は弓道部 趣味:ゴルフ



上の写真はドローンで空撮した写真を元に作成した3次元データです。基準の高さより低い所が赤色、高い所が青色で表示されています。水色の平場の部分が道路になる所です。このような立体的なデータを作成することで現場の状態がとても分かりやすくなります。

土木の魅力！！

まつやま ひかる

【吉原建設（株）（松山 晃）（入社4年目）】

工事名：宮崎10号金田地区第1号函渠設置外工事



（若いですが、落ち着いてインタビューに答える松山さん）



【高校で学んだ測量の技術を遺憾なく発揮】

●この仕事を何故、選んだ？

野球で農業高校に行くつもりで、専攻科は中学校の恩師から農業土木を勧められ、宮崎県立都城農業高校の農業土木科で学びました。地元で働こうと思ってはいたのですが、3年間農業土木を勉強して、土木関係の仕事に興味を持ち、高校卒業の際に、恩師より、地元都城市の吉原建設を推薦されました。

●職場環境は？

福利厚生もよく、週休2日の現場も増えてきていますので、休みも取れるなど仕事しやすい環境です。毎年若い方の採用も多く、自分たちの同期では、部署は様々ですが、年に1回は会う機会を設け、情報交換したり、お酒を飲んだりして交流を深めています。

●この仕事のやりがいは？

何も無いところに物ができて、「自分たちで作ったんだ！」と思えます。そして、ずっと残っていくものだと思います。キャッチコピーのとおり、「地図に残る仕事それが『土木』」です。

●仕事をする上で、気を配っていることは？

やっぱりコミュニケーション能力はとても大切だと思います。建設業は協力会社や資材メーカーなど当社以外の方と接する機会が多々あります。この間もちょっとミスをしたのですが、常日頃よりコミュニケーションを取っていたので、協力会社の方から「よかよ、よかよ」と言って許してくれました。本当に実感しました。

●就職に悩んでいる若者に一言

高校時代に建設会社のインターンシップや現場見学を経験する機会があり、入社した時に現場の雰囲気がつかみやすく、早く仕事を理解できました。積極的に参加することをお勧めします。土木の現場は、同じことの繰り返しではありません。その分大変なこともいっぱいありますが、毎回毎回新鮮なことばかりで飽きが来ません。

【松山 晃さんのプロフィール】

この現場での現場係員。宮崎県立都城農業高校農業土木科を卒業後、恩師の薦めで吉原建設（株）に入社。趣味は野球で吉原建設の野球チームで外野手を務める。また昨年から協力会社の方からの勧めでゴルフも始め、ベストスコアは100をまだ超えていますが、まだまだ伸びしろがあります。



【若き技術者たちは、光へ向かって進む！（ボックスカルバートの中で）】

ヘッドを上げて！



【会社の先輩で野球チームの監督の柿田さん（若手No. 6）（左）から指導を受ける（イメージ）】

『土木』＝達成感

【吉原建設（株）（柿田 脩）（入社8年目）】

工事名：宮崎10号金田地区第1号函渠設置外工事

●この仕事を何故、選んだ？

宮崎県立都城農業高校の農業土木科で農業土木を学び、高校時代の恩師より、吉原建設を推薦されました。

●職場環境は？

工事を担当している時は、忙しい時期もありますが、工事が完了し、次の工事を担当するまでには、比較的ゆとりがあります。オンとオフがあり、ゆっくり自分の時間が取れます。最近は、週休2日制の工事も多くなっています。

会社内の人間関係はすごく良く、わからないことはすぐ上司に伺えたり、上下の壁がありません。上司がすぐに行動して頂けるので、チームワークがとても良いです。また、忙しいプロジェクトがあれば、応援に行き社挙げて総力戦で挑みます。

●一番印象に残っている仕事は？

昨年（2019年）の「宮崎10号南横市地区改良外工事」の現場を担当した時ですが、開通日が決まっており、限られた工期の中で早期に完成でき、開通式のニュースを見た時は感無量でした。その工事は、休みなしで毎晩遅かったのが、きつくて辞めたい程でしたが、職場の先輩たちから「頑張れお前に任せるから」と応援や励ましを頂き頑張れたので、開通イベントで歩いている人を見るとその時の感動が蘇りました。

●この仕事のやりがいは？

施工しているときは忙しく、辞めたいと思ったことは何度もありましたが、完成した構造物を眺めたときに、この仕事に携わってよかった、頑張った分だけ達成感をすごく味わえます。やみつきになります。

今、自分が担当した区間がある志布志道路は、何年か後に全線開通すると思いますが、その時に自分が携わったことを子どもに自慢できます！また、地元都城に貢献できることが何よりです。地元知り合いも増えるので、助けられたり、助けたりの関係が生まれるのもこの仕事の良さです。

●就職に悩んでいる若者に一言

まだ建設業に対して「忙しい」、「大変」、「汚れる」というイメージを持たれる人がたくさんいると思いますが、それ以上に他業種にない達成感を味わえることや地元の方々と知り合い、良い関係ができることがこの仕事の良い所です。

また、今はインターンシップ制度もあるので、活用して頂くとその不安を解消できると思います。

【柿田 脩さんのプロフィール】

この現場での現場代理人。宮崎県立都城農業高校農業土木科を卒業後、恩師の薦めで吉原建設（株）に入社。

趣味は小学生のころから続けている野球で吉原建設の野球チームを若き監督として率いる。読売ジャイアンツのファン。

2級土木施工管理技士、測量士補などの資格を取得。現在、1級土木施工管理技士取得に向け、猛勉強中。



【インタビューで熱く語ってくださる柿田さん】



【会社の後輩の松山さん（若手No.7）（右）と現場で本日の施工について確認】



【若い二人で現場と地域を支えています】

「地域の未来をつくるそんな仕事です」

若者 No.5

さかい ゆうすけ
(大和開発(株) (酒井 勇輔) (入社8年目))

工事名：宮崎10号 都城道路2工区志比田地区下部工 (A2) 工事

●この仕事を何故、選んだ？

高校まで土木と関係のないことを勉強していましたが、宮崎県産業開発青年隊に入隊し、様々な研修や現場見学を通じて、土木の世界に興味を持ちました。

●建設業に就いてからのイメージは？

やる前はあまりいいイメージではありませんでしたが、実際は職場環境はすごくいいです！休みを確実に取れるので、家族と買い物に出掛けたり、子どもと遊んだりして、リフレッシュできます。

●この仕事のやりがいは？

橋の下部工工事やボックスカルバートを完成させて、実物を目にした時の達成感がすごいです。その他には、工事は決してスムーズにいくわけではなく、問題も発生します。それを発注者や地元住民の方と一緒に解決しながら、完成させることがこの仕事のやりがいを実感します。常日頃から通りすがりの地域の方などに工事の進捗を話したり、世間話などをして、コミュニケーションを取っておくことも大事です。

●就職に悩んでいる若者に一言

今建設業は、ICTやドローンを取り入れて、日々進歩しています。昔ながらの建設業というイメージと違うということを伝えたいです。

【酒井 勇輔さんのプロフィール】

この現場での現場代理人。宮崎県立日南振徳商業高校（現：宮崎県立日南振徳高校）を卒業後、恩師の薦めで、宮崎県産業開発青年隊に入隊。趣味はサッカー。ポジションはMF、好きな選手は小野 伸二（FC琉球）。他にもプロ野球のキャンプにも出かけるとのこと。



【施工監理・安全管理は現場代理人の重要な任務】



工事名 宮崎10号都城道路2工区志比田地区橋下部工 (A2) 工事									
施工者 大和開発㈱									
〒 普通 24-12-20-68									
打設時期 フーチング 完成 1 AM									
締切日 2019年12月26日 立会者 酒井 氏									
試験日 2020年1月24日 材料 29日 標準養生									
No	スランプ(㎫)	空気量(%)	GT(℃)	密度(DN)	強度(C/㎫)	平均値			
1				228	29.0				
2	10.0	5.3	14	226	28.8	28.8			
3				225	28.6				
株式会社 コンプ 総務工場									

【インタビュー者の印象】

インタビューの時の温和で気さくな感じと現場での真剣なまなざしは、現場代理人としての誇りと気配りを感じました。先輩と楽しそうに仕事に取り組まれているのが印象的でした。



【インタビューでにこやかな笑顔の酒井さん】



【会社の先輩の高千穂さん (ベテランNo. 1) (右) と地域を支える！】



GET
GOLL~~~~!!

【趣味はサッカー。ダイレクトボレーを決める！】

「土木に出会えて良かった」

さこん としのぶ
(左近 寿伸)

工事名：令和元年度小丸川河道掘削外維持管理工事

((株) 藤元建設 入社約5年)

●この仕事を何故、選んだ？

以前は全く違う仕事をいろいろとしていました。元々、物づくりが好きだったのと、友人から誘われ、やってみようと思いました。この会社に入社して、初めて建設業に携わりました。

●この仕事のやりがいは？

会社の人たちや協力会社の人たちと協力して物を造り上げていって、それが出来上がった時にやりがいを感ずいます。やはり、自分が造った物が何年も存在することがやりがいだと思います。今までに一番印象に残っている工事は、高岡の砂防ダムの工事で工期が一杯いっぱい苦勞しましたが、良い出来映えでした。家族にも見せました。

●現場での職場環境は？

建設業は、きつい、汚い、休日が少ない、先輩方が怖い、危ない人が多いというイメージがありました。全然違って、ICT工事は汚れることもなく、先輩方も優しく、和気藹々楽しく仕事しています。この現場も4週8休で休日の予定が立てやすく、文句ありません。現場事務所や休憩所も冷暖房完備で10時、昼、15時の休憩もそこで取る体制にしています。

●就職に悩んでいる若者に一言

建設業は、ICTの活用により汚れなくなり、休日も多く、先輩方も優しく接してくれます。将来にわたって構造物が残ったり、地図に記載されたり、他の業種にないやりがいがあります。充実した日々が送れます。

●会社での担い手確保・育成の取り組みは？

当社は、県内ではICT導入が早く、積極的にICT工事を進めています。この工事でも自社の機械で実施しています。その他に、地元高校での出前講座、インターンシップ、県内での企業説明会等に参加しています。



【もともと物づくりが大好きな左近さん。やっと天職を見つけたような雰囲気印象的でした。子煩悩な一面も覗かせ、二人目のお子さんの誕生を目尻を下げながら、とても楽しみにしていました。】

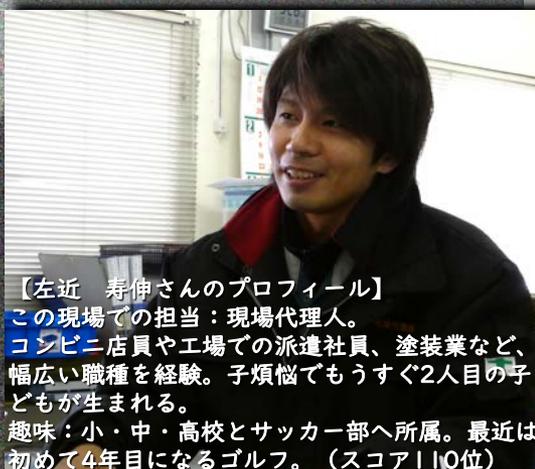


【ICT機器を使いこなす左近さん】



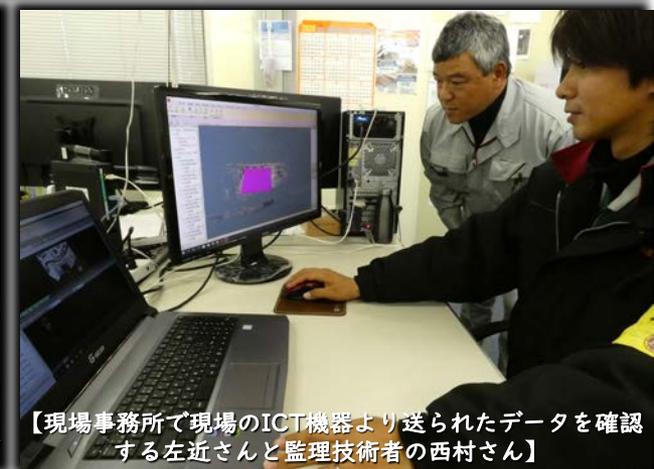
【小・中学校時代にサッカーで宮崎選抜。ポラッチで大活躍。大塚中2年の時に宮崎県大会で優勝。】

このキックで中学2年の時、宮崎県大会で優勝に導きました。



【左近 寿伸さんのプロフィール】

この現場での担当：現場代理人。
コンビニ店員や工場での派遣社員、塗装業など、幅広い職種を経験。子煩悩でもうすぐ2人目の子どもが生まれる。
趣味：小・中・高校とサッカー部へ所属。最近は、初めて4年目になるゴルフ。(スコア110位)



【現場事務所で現場のICT機器より送られたデータを確認する左近さんと監理技術者の西村さん】

『建設業の魅力は、ズバリ「やりがい」です。』

でくち たくま
(出口拓磨：(株)増田工務店入社約9ヶ月)

工事名：宮崎220号富土地区改築工事

●この仕事を何故、選んだ？

高校に入学して3年間土木の勉強をしていく中で少しずつ建設業を意識していきました。この会社に決めたのは、この会社に高校の先輩方がいて、会社の雰囲気が良いことなどの話を伺い決めました。先輩方がいたのは大きい。入社後も実感しています。

●この仕事のやりがいは？

やりがいのある仕事と聞いて入社しましたが、入社して最初の現場の舗装工事が出来上がり、実際に形として見えたときに「おおっ！」という、今まで感じたことのない感動を覚えました。この現場の完成も楽しみです。

●現場での職場環境は？

思っていた程、「建設業=汚い」というイメージはないと感じています。この現場のトイレも洋式でびっくりしています。また、会社が整理整頓を奨励しており、それが安全に繋がると教育を受けているので気を付けています。

勤務時間も平日は17時には仕事が終わります。基本的に土、日曜日は休みです。1月の3連休も休みました。

学生時代にサッカーを頑張っていたので、会社内に「FC増田」というサッカーの社会人チームがあり、参加しています。17時以降や休日が決まっているので、プライベートの予定が立てやすく他の趣味も模索中です。

●建設業の魅力について一言

やはり「やりがい」です。道路や橋などを自分の手で完成させ、そこを友達や家族と車で走った時に自慢できると思います。

また、運転免許証を持って、道路の走りやすさを感じた時にこの仕事に就いて良かったと改めて思います。

【出口琢磨さんのプロフィール】

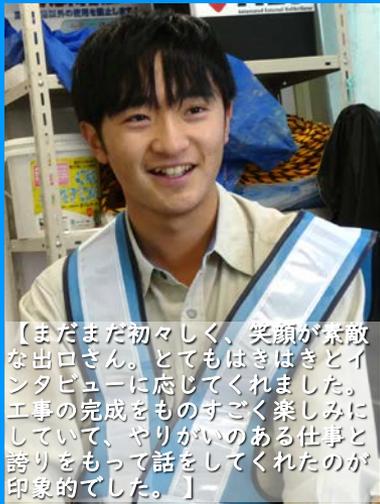
この現場での担当：現場係員。
 宮崎県立宮崎農業高等学校 環境工学科卒業。
 スポーツ歴：高校=サッカー (MF)。現在も社会人チームの「FC増田」に所属し、活躍中。
 好きな選手は、日本代表の遠藤保仁。
 趣味：現在模索中。



【乗りの良い先輩方とサッカーボールを蹴るコマ送りポーズ。ワンチームを感じました。】



【現場の石をサッカーボールに見立てて、特技のサッカーのフリーキックのポーズ】



【まだまだ初々しく、笑顔が素敵な出口さん。とてもはきはきとインタビューに応じてくれました。工事の完成をものすごく楽しみにしていて、やりがいのある仕事と誇りをもって話をしてくれたのが印象的でした。】



【先輩の指示のもと、測量機器を巧みに操る出口さん】



【定期的に工事周辺の側溝の清掃作業を実施しています。これにより住民の方々との距離感が縮まり、円滑な施工に繋がっていることを実感しています。】



【この現場では安全管理を担当している出口さん。毎朝、両親以上の年齢の作業員の方々に勇気を出して「安全最優先」の指示を徹底しています。】



【管理技術者の押川さん(写真右)と現場代理人の戸高さん(写真左)とワンチーム。】

「土木の道に進んで良かった」

ひろせ たいすけ
(廣瀬 太亮)

工事名：宮崎10号都城道路2工区志比田地区橋下部工 (A1) 外工事

((株) 坂下組 入社約4年)

●この仕事を何故、選んだ？

幼い頃から大きな機械で大きな物を造る工事現場に興味があり、将来は土木の道に進もうと思っていました。社会や多くの人のために必要な物を造りたいと思って、この仕事を選びました。生まれ育った地元に貢献したいという気持ちを強く持っています。

●この仕事のやりがい？

現場は、学校の教科書どおりではなく、臨機応変な対応を行うことも多く、現場に出ないと学べないことがたくさんあります。また、流行語で言うまさしく「ONE TEAM」。現場の皆で協力し合い、一つの物を作り上げていくことや何もなかった場所に、毎日、技術力や知恵や工夫を取り入れて造ってきた物が完成した時にとても大きな達成感があります。自分が携わった物が地図に記載され、未来に残っていくと思うとこの仕事をやって良かったと思います。

●現場での職場環境は？

先輩や上司、協力業者の方々は、優しく、少しでもわからないことや不安や悩んでいることを何でも聞け、自分が理解できるまで丁寧に教えて頂いています。人間関係が非常に良くて、毎日、現場に来ることが楽しいです。

また、週休二日制を実施しているので、仕事のオンオフがはっきりしているのも嬉しいですね。最近、スノーボードを始めました。現場事務所も清潔で全て揃っていて過ごしやすいですね。

●就職に悩んでいる若者に一言

建設業界では、ドローンによる測量やICTを活用した施工など、日々新しい技術を取り入れた現場が増えています。これにより「きつい」「汚い」「危険」と思っていたイメージがなくなりつつあり、「安全」でよりスムーズな仕事になっていくと思います。やっぱり現場は楽しいです。



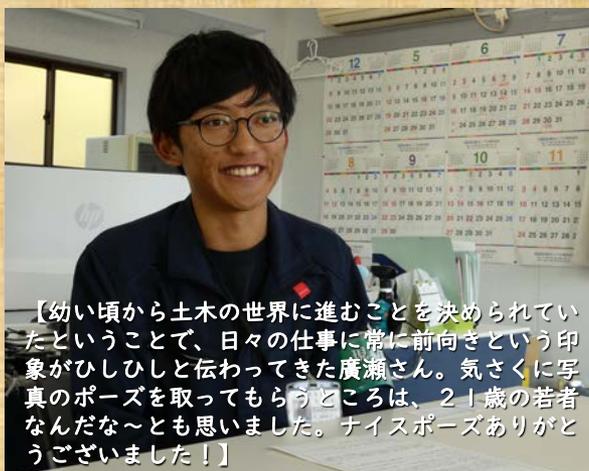
【協力業者の方と施工前に段取りの打ち合わせをする廣瀬さん】



【遠くから廣瀬さんの仕事を見守る上司と先輩】



【基礎杭の鉄筋の配筋を確認する廣瀬さん】



【幼い頃から土木の世界に進むことを決められていたということで、日々の仕事に常に前向きという印象がひしひしと伝わってきた廣瀬さん。気さくに写真のポーズを取ってもらったところは、21歳の若者なんだな～とも思いました。チヌポーズありがとうございました！】



スノーボードでは、こんな感じでジャンプするんですよ！

【廣瀬 太亮さんのプロフィール】
この現場での担当：現場技術員。
宮崎県立延岡工業高等学校土木科を卒業後、入社し、会社の勧めで宮崎県産業開発青年隊に入隊。
趣味：今からシーズンのスノーボード。



手がデカくて、
土木向きです。
何でもやります
『川井リース』



【川井海治さんのプロフィール】
この現場での担当：現場補助。
今年の6月まで、東京で車の営業。
スポーツ歴：中学・高校・大学＝剣道（四段）。高校時代は
全国大会出場。玉竜旗にも。大学では全日本に団体で出場。
趣味：サーフィン。

剣の道から土木の道へ

かわい かいじ
(川井 海治：旭建設(株)入社約5ヶ月)

工事名：平成30年度伊比井地区災害復旧工事

●この仕事を何故、選んだ？

剣道でも団体戦の皆で助け合いながら進めていく感じが好きで、仕事も力を合わせて1つのものを作り上げていくことがしくて今年の7月に東京から帰ってきました。就職説明会に参加し、そういった仕事に合致した旭建設に入社しました。

●この仕事のやりがいは？

構造物が日に日に立ち上がっていき、下請けさんの力も借りながら完成させる。それを見ていると「なんかいいなあ」と感じます。地域のために自分が少しでも加わっていると言う実感をすごく感じています。

●就職に悩んでいる若者に一言

「縁の下の力持ち」という言葉がありますが、皆さんが見えない所とか寝ている時の施工が多々あります。誰かのためにという気持ちがある人は向いていると思います。

●現場での職場環境は？

東京では、お客様相手の仕事だったので昼休み、土日もなく、食事でも不規則でした。今は、10時の休憩とか昼休みもきっちり頂け、遅くとも18時位には仕事が終わり、土日も休みなんで、東京の暮らしとは全く違います。余暇をサーフィンしたりと遊んだり、充実しています。給料的には東京の方が良かったが、それに代えられないくらいに暮らしが充実しています。建設業は「きつい」「汚い」などのイメージがありましたが、どこの現場事務所もきれいで整頓されています。トイレもきれいなのは正直びっくりしました。



土木の道を早く極めて、一人前になりたい。



【口数は多くなかったが、一つ一つの言葉から、建設業で働く誇りと責任感が感じられました。営業で培った笑顔がチャーミング】



担当した現場

国道220号

【同じ現場を担当した酒井さんと二人で感慨深く完成した現場を眺める】